

輸出事業計画 ※申請者名：東北・食文化輸出推進事業協同組合

品目：スパークリングアルコール飲料、ワイン、日本酒、ぶどうジュース、トマトジュース、甘酒、冷凍和洋菓子、冷凍カキ加工品、冷凍ホタテ加工品、冷凍メカジキ柵、魚肉ソーセージ

1. 輸出における現状と課題

《現状》

○外部環境

世界人口は令和5年時点で約80億人に達し、増加傾向にある。令和32年には98億人に達すると予測され、その半数以上をアジアが占める見通しである。こうした状況下、日本政府は農林水産物・食品の輸出促進政策を推進しており、輸出額は平成24年以降毎年増加している。令和4年には1兆4,148億円を達成した。さらに、海外の和食ブームや訪日外国人旅行者の増加が日本食材の海外需要を後押ししている。

○内部環境

東北地方は自然環境に恵まれ、農水産業や食産業が発展してきたが、平成23年の東日本大震災により産地は壊滅的な被害を受けた。生産量は回復しつつあるが、国内市場が縮小傾向にある中、海外市場への進出が急務である。域内企業は震災からの復興を進めると同時に、更なる販路の拡大を目指し、企業力と商品力に磨きをかけている。

《課題》（4カ国共通）

【生産・製造】

水産加工品については、近年の環境変化の影響で、漁獲高が変わり、市場価格が安定しないため、最終販売価格も安定しない。農産加工品、酒類の原料においては、昨今の気候変動の影響を受けて原材料の価格が安定しないのは、水産加工品と同様に問題になっている。基本的に、水産加工品、農産加工品、酒類の原料については、今後も原価が高騰することが見込まれる。

【加工】

水産物の漁獲高が減ったことにより、過去に投資した設備では稼働率を上げることが難しくなっている。

農産加工品の原料となる農産物についても、ハウス栽培においては光熱費の増加、また、部材の高騰、ワインにおいては、気候変動により、収穫できる葡萄の品種が変わったり、他産地から仕入れる必要が出たりすることにより原料の価格が高騰しているため、高付加価値の商品を作ることが必要となってきた。

【物流】

全ての加工品に共通して、近年、船便の価格高騰、また、コンテナ不足によるブッキングの難しさから、思った日付で船便を手配することが難しくなっている。

【販売】

各国とも、初期取引については、価格だけで判断されることが多く、価格以外の要素にて決済を決めることが難しくなっている。

2. 輸出事業計画の取組内容

《取組》（4カ国共通）

【生産・製造】

加工度が高く、付加価値の高い商品を販売することで、原材料価格が上がったとしてもそれを吸収できる利益を確保できるようにする。また、既存の原料だけではなく、他地域や海外原料も視野に入れて製造を考える。

【加工】

今までの原材料に拘らず、他地域や、場合によっては海外産の原料を使い、今までの加工技術を使った新商品を開発する。

【物流】

今後も船便については全世界的に逼迫する見込み。価格を抑えることは難しいが、ある程度時期を早く予約することや、取引を拡大し、船便のブッキング数を伸ばすことにより安定した物流を目指す。

【販売】

すでに取引があるパートナーとの販売量拡大を目指す。具体的には、タイはパートナー企業と共同で、毎年5月に開催される東南アジア最大の食品展示会Thaifexに出展する。マレーシアでは、パートナーの飲食店と協力して、マレーシア国内での東北・食文化輸出推進事業協同組合の加工品の販売およびブランディングはもちろん、同じイスラム圏へのマーケティングとしても継続して、商品開発・販売戦略を行なっていく。シンガポールにおいては、パートナー企業が運営しているBtoC向け通販サイトで高付加価値の商品を販売していき、シンガポールで成功した商品を欧米などのBtoC販売へと展開していく。ベトナムにおいては、今年出展したベトナムフードエキスポで得た様々な商談機会を成約させるために、今度は商談した企業を個別に訪問することにより成約を勝ち取っていく。

全ての国において、東北・食文化輸出推進事業協同組合の販売シェアは微々たるものなので、さまざまなバイヤーとつながるよりも現状付き合いのあるバイヤーと協力しての販売強化を目指す。

様式2 輸出事業計画 ※申請者名：東北・食文化輸出推進事業協同組合
品目：スパークリングアルコール飲料、ワイン、日本酒、ぶどうジュース、トマトジュース、甘酒、冷凍和洋菓子、冷凍カキ加工品、冷凍ホタテ加工品、冷凍メカジキ柵、魚肉ソーセージ

3. 輸出事業計画の実証と見直しを行うためのPDCA実施体制

令和6年7月時点 組合体制図（組合員28社、事務局1社）



4. 輸出目標額

(輸出品目：スパークリングアルコール飲料)			(輸出品目：ワイン)			(輸出品目：冷凍和洋菓子)		
	現状 (令和5年度)	目標年 (令和9年度)		現状 (令和5年度)	目標年 (令和9年度)		現状 (令和5年度)	目標年 (令和9年度)
輸出額(千円)	0	1,620	輸出額(千円)	3,629	12,474	輸出額(千円)	0	210
輸出量(L)	0	518	輸出量(L)	1,382	4,752	輸出量(KG)	0	84
輸出先国	-	マレーシア ベトナム	輸出先国	マレーシア ベトナム	マレーシア ベトナム	輸出先国	-	シンガポール

(輸出品目：日本酒)			(輸出品目：ぶどうジュース)			(輸出品目：冷凍カキ加工品)		
	現状 (令和5年度)	目標年 (令和9年度)		現状 (令和5年度)	目標年 (令和9年度)		現状 (令和5年度)	目標年 (令和9年度)
輸出額(千円)	30	3,000	輸出額(千円)	0	2,880	輸出額(千円)	10,048	27,112
輸出量(L)	9	864	輸出量(L)	0	346	輸出量(KG)	469.2	1,181
輸出先国	マレーシア ベトナム シンガポール	マレーシア ベトナム シンガポール	輸出先国	-	マレーシア ベトナム	輸出先国	マレーシア ベトナム タイ シンガポール	マレーシア ベトナム タイ シンガポール

(輸出品目：トマトジュース)			(輸出品目：甘酒)			(輸出品目：冷凍ホタテ加工品)		
	現状 (令和5年度)	目標年 (令和9年度)		現状 (令和5年度)	目標年 (令和9年度)		現状 (令和5年度)	目標年 (令和9年度)
輸出額(千円)	0	1,920	輸出額(千円)	0	88	輸出額(千円)	7,994	17,452
輸出量(L)	0	346	輸出量(L)	0	168	輸出量(KG)	1,720	3,500
輸出先国	-	マレーシア ベトナム	輸出先国	-	マレーシア ベトナム	輸出先国	マレーシア ベトナム タイ シンガポール	マレーシア ベトナム タイ シンガポール

(輸出品目：冷凍メカジキ柵)			(輸出品目：魚肉ソーセージ)					
	現状 (令和5年度)	目標年 (令和9年度)		現状 (令和5年度)	目標年 (令和9年度)			
輸出額(千円)	0	2,929	輸出額(千円)	0	240			
輸出量(KG)	0	1,116	輸出量(KG)	0	84			
輸出先国	-	マレーシア ベトナム タイ シンガポール	輸出先国	-	マレーシア			